

ツキノワグマについて



体色

全身はオス、メスとも黒色です。老齢個体ではこげ茶色になることもあります。

体型

成獣の鼻先から尾の先までの長さは通常120～145cm程度で、オスの方が大きい。

体重

成獣では通常60～80kgですが、中には100kg越えるものもいます。

歯

犬歯が発達しています。また、奥歯は物をすりつぶすのにも適しています。

月の輪

三日月の大きな斑文から小さなものまで形や大きさは様々です。全く月の輪のないものもいます。

手のひら(掌)

弾性力のある肉球があり、手のひら全体を地面に着けて歩くので物音を立てません。

爪

クマの爪は極めて危険です。ネコのように引っ込めることができないので足跡には爪の後も残ります。

腕力

前腕、肩の筋肉が発達しており、手前へ引く力が強く、穴掘り、木登りが得意です。

臭覚

臭覚はイヌ、イノシシ並に鋭く、クマの最大の感覚器官です。

視覚

視覚は他の野生動物よりも優れているとはいえません。

聴覚

低音には意外と鈍感で、足音などの低い音を聞き分けるのは弱いとされています。

味覚

雑食性で甘い物が大好物ですが、腐った肉など悪臭のものにも興味を示します。

食性

冬……………越冬中は冬眠のため、採食はしません。

春から夏……………ブナの若芽、タケノコ、草本類、昆虫類を食べます。

秋……………ミズナラやコナラ、ドングリ、クリなど炭水化物を多く摂り越冬に備えます。

相対的にその時期の旬のものを集中して食べる食性があります。



行動圏

●クマの移動範囲は非常に大きく、オスで約70km、メスで約40kmと言われており、一定の地域を季節を通じて行動しています。

●基本的になわばりはなく、餌のあるところに移動、集中するようです。

●しかし、ドングリ類が不作のときは行動範囲が広がり人間との接触が増えることがあります。

出産

クマは冬眠の間に1～2頭程度出産します。しかし、繁殖力はとても低く、秋に餌が十分食べられないと流産してしまいます。